

方策9. 対面とデジタルを融合した教育

コロナ禍は教育環境も一変した。とりわけ、2019年春の学期では、小中学校を含めた多くの学校がオンライン教育を導入し、大学などその後もオンライン教育が継続している機関も少なくない。このことが逆に、デジタル・デバイドなど、教育へのアクセス問題が依然として存在していることを明らかにした。誰一人取り残さない学習環境の実現は先進国でも重要な課題となっている。

SDGs 達成へ向けた留意点

1. デジタル・デバイドが起こらないように教育のデジタル化を進めることが必要¹⁴。また、個人レベルにおいても、電子端末利用への対応やICTスキルの獲得を進め¹⁵、その補助機能や教育機能を高めることが多様な学習者のレベルで必要である。
2. ユニバーサルかつオンラインとオフラインのハイブリッドな教育環境の整備：このためには高速インターネットへのアクセスを含めたインフラ整備により誰一人取り残されない環境整備が必要となる¹⁶。

達成に貢献する主なターゲット

- 4.1（無償かつ公正で質の高い初等教育・中等教育へのアクセス）
- 4.4（職業的スキルなどの技能の習得）
- 4.a（障害のある人々、ジェンダーに配慮の行き届いた教育施設）
- 8.6（就労、就学、職業訓練のいずれも行っていない若者の削減）

¹⁴ SDGs 推進円卓会議（2020）「SDGs でコロナ危機を克服し、持続可能な社会をつくるためのSDGs 推進円卓会議構成員による提言」

¹⁵ Bertelsmann Stiftung and Sustainable Development Solutions Network（2020）：Sustainable Development Report 2020, 9-12pp.

¹⁶ OECD（2020）：「新型コロナウイルス（COVID-19）への都市の政策対応」,12pp.